

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ゆうゆう理念をホーム内に表示してある。 それまでの生活習慣、地域との関わりを出来る限り続けられる様家族にも協力依頼し、希望される限り慣れ親しんだ散髪屋さん、お店にお連れしたり 地域行事の参加に心掛けている。	地域住民との畑作業での交流、地域の文化祭への出品協力参加を行っている。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの理念を理解し、その意味や介護のあり方をより効果が得られる様、目標をあらわし実践に取り組んでいる。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居の時や面会時などに家族に話している。 又、地域の方達には、地域の文化祭への参加、運営推進会議や畑作りを通して話をするように心掛けている。	年度初めの運営推進会議や広報誌の中で盛り込んでいける様にしたい。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や畑作業時などに挨拶を交わしている。 構造的に病院の3Fにあるが受診時に入居者知人の面会がある。	入居者の受診時には、周囲の方々へ足を運びやすい雰囲気作りに今後も取り組んでいきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の文化祭には、毎年参加させていただいているが、自治会、老人会には、参加出来ない。 幼稚園より 花見の招待を受けた。	病院受診時の待合室が近隣住人との交流の場となっており 今後もこのような機会を大切にしていきたい。

グループホーム ゆうゆう

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議の中で参加者の要望に答え認知症についての勉強会をする。		認知症についての勉強会を今後も定期的に行っていきたい。又、暮らしに役立つ情報提供を行いたい。
理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	内容をスタッフミーティングにて説明し、改善事項などを検討し取り組んでいる。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者に必ず質問や要望内容を確認し、それをもとに改善する内容については取り組んでいる。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者らと運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	電話にて相談や、問い合わせ等を行っている。		保険者へ出向き相談を指導、助言を仰いでいきたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	資料をファイルし、見やすくしたり、法人全体での勉強会で取り組んでいる。又、社会資源の利用が必要で詳しい、アドバイスが必要な方にはソーシャルワーカー等にも相談し解決できる様に取り組んでいる。		定期的に運営推進会議での勉強会を盛り込んでいきたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者家族による、入居者、家族、スタッフへの暴力行為に対し、関係機関(主治医、ワーカー、スタッフ)と連携し、情報提供(DVの相談機関)と行政専門医への相談を促した。		介護事業者協会によるセミナーにて、勉強会に参加している。又、スタッフ間でも相互監視を行っている。

グループホーム ゆうゆう

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだし解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>資料を渡し、契約前に本人や家族にホーム内の見学をして頂き、契約書等の内容なども書類を見ながらし、不安や疑問なども随時対応することを伝えている。</p>		<p>今後も分かり易い説明を心掛けるようにしたい。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者をスタッフ間で話したことを会議等で報告し、改善の必要があるのか検討を行っている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>広報誌にてお知らせしたり、運営推進会議の中でも報告出来る事は行っている。個人的な事なども面会時や電話等で報告を行っている。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置したり受付窓口や責任者、第三者委員会も掲示している。些細な事でも気軽に話せるように家族に伝えてある。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティング時や、日頃の業務中でもスタッフの意見を聞き、話し合いを行っている。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>調整できる所は、状況に合わせておこなっている。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>担当替えの際には、入居者、家族の方へ引継ぎ説明を行っており、広報誌にて報告を行っている。</p>		

グループホーム ゆうゆう

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援			
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>グループホームに適した人材であり、意欲的に取り組もうとする姿勢を採用対象とし、スタッフについても得意分野に役割を果たしてもらいなど個々の能力を生かせる様努めている。</p>	
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>ホーム内の論理や認知症高齢者の人権について資料を貼ったり、ミーティング等でも啓発活動に取り組んでいる。又、毎週月曜日の朝礼時、法人代表より講義がある。</p>	
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的に法人内で研修を行っている。法人外でも、希望があれば申し出をし、研修を受け報告書も書いている。</p>	<p>専門誌による情報提供、研修参加への呼びかけを行っている</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>協議会のスタッフセミナーに参加したり、グループホーム部会にも参加している。</p>	
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員同士で気兼ねなく話し合えるよう雰囲気作りや心掛けミーティング等を行っている。</p>	
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている</p>	<p>資格取得や自己啓発に向けて奨励し、賞与等の査定において人事考課制度を導入</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>一人一人コミュニケーションを取り傾聴している</p>	<p>難聴の方にもゆっくりと話す機会を作っている。</p>
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居相談等は困っている事や不安な事などきちんとアセスメントし対応策を家族と一緒に考えている。又、入所後の面会時には何でも気軽に話せる雰囲気作りを行っている。</p>	
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」ま ず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談の内容により、職員間で改善策を講じたり、必要に応じて他のサービスを紹介など行っている。</p>	
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に本人と家族で来ていただき一緒にお茶を飲むなどの時間を設けている。</p>	<p>今後は体験利用をすすめていく。</p>
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者の生活暦を傾聴把握し、特技や趣味を活かせる場を設けている。出来る事は自分で行って頂いている。</p>	

グループホーム ゆうゆう

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時等に家族の思いや考えを聞き、本人の状況や職員の思いなども伝えるよう心掛けている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している	本人の日々の様子や面会時、必要時には電話で伝えており、写真に撮り、広報誌等で伝えるようにしている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている	散髪や皮膚科、歯科受診などは、家族の方からの情報をいただき、外出支援の協力を依頼を行っている。		入居者が高齢化してきている事も有り、今後も外出支援や面会等の協力を引き続き依頼していきたい。
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクやお茶の時間等には入居者の座るところに配慮したり、仲の良い入居者同士とが過ごし易いよう配慮するようにしている。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	家族の方から相談をされた時などは、関係機関のもと連携を取り支援が行えるよう心掛けている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族の方や本人に尋ねたりしているが、無理な場合が多いので、その方の表情や動き、言葉から感じ取れるように努めている。</p>	
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族の方からの情報提供が大半である。意思疎通困難により把握出来ない部分がある。</p>	<p>共に生活していく事により、本人からの情報収集を心掛けていく。</p>
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>「アセスメント介護記録」を利用し、職員間での連携・情報の共有により現状把握を行っている。</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人本位で考え、家族や主治医、関係機関の意見を収集し計画作成を行っている。</p>	
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的にモニタリングを行っている。 計画修正時にはモニタリングとアセスメントを実行し必要時には関係機関への情報収集もを行い計画作成を行っている。</p>	

グループホーム ゆうゆう

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をよく観察し、気づいたことなどは記録に残し、職員間でも情報を共有している。又、それを基に介護計画の見直し等に活かせるよう心掛けている。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	一人一人の生活のリズムに合わせて起床、入浴時間、食事等個人のペースで行えるよう配慮を行なっている。		
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の方々との交流、意見交換等を行う場として2ヶ月に1回運営推進会議を行い、地区の文化祭に出品と参加をしている。又、行事等を行う際は、ボランティアの方に来ていただき、出し物をして頂く等協力を呼びかけている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	グループホーム部会での連携、家族の希望に応じ、病院のワーカーを紹介し、他入居施設の説明、紹介等の情報の連携を行っている。		今後も他のケアマネジャーやサービス事業者、居宅支援事業者とのネットワークを構築したい。
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在、予防支援の方が居られない為、具体的な実施は行っていない。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前にはかかりつけ医の情報提供をしていただき、入居後も希望する医療が受けられる事の説明を行っている。		

グループホーム ゆうゆう

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医への受診や相談は必要に応じて行っている。又、家族が希望される場合、主治医が専門医の受診を判断した場合は、治療を受けられるよう支援を心掛けている。		
47 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	法人内に病院が併設しており、看護職員も入居者のことを良く知り、日常的に挨拶を交わす等安心につながっている。		
48 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	同法人内に病院が併設しており、病棟に会いに行ったり、主治医、看護師等が病状についての情報の連携も取り易い。早期退院に向けて意向を確認し連携に心掛けている。		
49 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居の際より説明し主治医との連携を取りながら、スタッフとも話し合い方針の共有が出来るよう心掛けている。		
50 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療体制指針の同意を得る際、「出来る事、出来ない事」の説明を行い、必要に応じ主治医との連携を取りながら、再度家族への現状の報告と終末期の選択確認を行えるよう心掛けている。		
51 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居される際は、出来るだけ使用していた物を持参していただき、不安時には家族へ来居依頼を行う等、入居前との変化があまりないよう努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>その人に合わせた言葉かけや対応を行い、又、入室の際は声かけをし、プライバシーの確保に心掛けている。</p>	
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めた納得しながら暮らせるように支援している</p>	<p>買い物や散髪など外出の希望があれば計画をし、家族と共に相談をし支援している。又、面会時には本人の希望や好み、家族の希望を伺うように心掛けている。</p>	
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>業務の流れの中で優先順位を決め、後にできることは後回しにし、本人のペースや希望に合わせてるように努めている。</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>自分で更衣できる方には、着ている服を褒めたり、出来るだけ自分で着衣を選んで頂くように心掛けている。散髪は希望に応じ、対応を行っている。</p>	
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>誕生日には個人個人の希望を取り入れたメニューにしている。食事形態もその人に合わせた調理をし、野菜の皮むきや配膳・下膳と、出来る事を手伝っていただいている。</p>	
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>煙草に関しては健康と安全上の問題で禁煙としているが、コーヒーやお菓子など嗜好品については本人が管理できない場合は預かり、希望時にお出し楽しんでいただいている。</p>	

グループホーム ゆうゆう

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェックシートを使用し個々の排泄パターンを把握するように努めている。状態によって布パンツ・リハビリパンツ・尿とパットを併用するなど気持ちよく排泄できるよう援助をおこなっている。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個々の状態に合わせ、介助や援助を行っている。ゆっくりと一人での入浴を希望される方もいるので時間帯の配慮を行っている。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間、安眠できるように、昼間掃除の手伝いをしていたり、散歩に連れ出したりと、適度に動いていただくよう心掛けています。眠れない方には温かい飲み物を用意したり、話し相手になったり、落ち着くように支援を行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々に合わせた役割を持っていただき、モップがけや洗濯物たたみ、野菜の皮むき、配膳手伝いなどをしていただいている。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	散髪の際、自分で払っていただいたり、公衆電話をかける際、本人にお金を入れていただいたりしている。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	畑作業にお連れしたり、買い物に同行していただいたりしている。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	行事計画をたて花見やドライブなどを行っている。現在家族の参加はない。		継続的に家族の協力を呼びかけ、行事の工夫を検討していきたい。

グループホーム ゆうゆう

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている	いち利用者は、絵を得意としており 本人の希望時には郵送をしたり 手紙を書いたりしている。電話が掛かってきた時には、本人と代わり話しをしている。電話の訴え時には、公衆電話へ誘導し、必要部分の援助を行っている。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	病院受診された近隣の方や、友人、親族の面会があり 面会時にはスタッフも声を掛けお茶出し等を行っている。		
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており 身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は、原則禁止にしているがやむを得ない場合（一時性・切迫性・非代替性）は家族へ説明し同意を得るようにしている。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており 鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵を掛けていない。夜勤者が一人になる時間帯は家族の同意を得たうえで、玄関、非常口の鍵を掛けている。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の行動を観察できるようにし、状況によっては声掛けを行うようにしている。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	本人にとって必要な物、不必要な物は、本人と家族、管理者、スタッフと話し合い意見を取り入れている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故発生時には報告し届けを書き、改善策の検討をしている。定期的に防火訓練も実施し、必要に応じマニュアルを作成し対応している。		

グループホーム ゆうゆう

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時対応のマニュアルはあるが、G.H内での定期的な訓練は行っていない。		今後は、年度はじめにマニュアルの確認と訓練を行いたい。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	71に同じ。地域の方々にも協力を得られるよう呼びかけている。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	随時、家族へ利用者の状態に合わせて、起こりえるリスクの説明を行い、なるべく行動の規制をしないように心掛けている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	状態に変調がある場合は速やかに併設の病院に報告し、必要に応じ受診している。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の変更があった場合には、記録に残し、職員間での情報伝達を確実にしている。内服の一覧表を薬箱に用意している。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	日々の水分補給や、散歩などを心掛け、便秘がちな方には腹部マッサージや、下剤服用もあり、排便が出来ない場合には、主治医への指示を仰ぎ坐薬。病院受診にて排便を行う等排便を促している。		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後には必ず、声をかけ、必要に応じ見守りや介助(義歯洗浄、口腔ケア等)を行っている。		

グループホーム ゆうゆう

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりのバイタルや排泄チェック表を参考にし、季節や個々の状況に応じて食事量や水分量の配慮を行っている。月一回の体重測定を必要に応じて医療との連携図りから支援を行っている。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に関する研修や対応マニュアルを作り実行している。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理の際は利用者さんと一緒に畑で作っている季節の野菜を取り入れるよう努めている。まな板、包丁、ふきん類は一日1回はハイター消毒を行っている。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ホーム専用の入り口が裏に位置している為正面から見た感じでは分かりにくい、看板を立てたり折に触れて説明する等して分かり易いように工夫に努めている。		家族が来居者に意見を仰ぎながらホームの場所が分かるような表示を継続的に検討していきたい。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないよう配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせて小物や花など入居者の目線に合わせて、家庭的な雰囲気を心掛けている。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりが自由にTV視聴出来るよう又、利用者同士で気軽に話せるようテーブルや椅子を利用し居場所の確保を行っている。		

グループホーム ゆうゆう

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	TV、ラジオ、大正琴、仏壇、編み物、小物等本人の使い慣れた物を自由に持ち込んで頂いている。		
86	換気 空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	天候や一人ひとりの体調に配慮し換気や室温調節を定期的に行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室の扉は軽くて動き易い木材を使用し、流し台、トイレは、低くし居室の入り口や浴室には、滑り止めをし安全かつ自立した生活が送れるように配慮している。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者の目線に合わせて居室前にネームプレートを設置し、居室の間違いを防止している。利用者の出来そうなことは見守り作行い、必要に応じ一緒に行っている。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり活動できるよう活かしている	利用者の方がベランダに出ることは難しいが、近くに畑を借りて、野菜を作ったり 天気の良い日は、利用者と共に散歩に出掛けている。		今後、ベランダに通じる扉を検討中。

.サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の 2/3 くらいの	
		利用者の 1/3 くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に 1 回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の 2/3 くらいと	
		家族の 1/3 くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム ゆうゆう

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の 2/3 くらいが	
		職員の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の 2/3 くらいが	
		家族等の 1/3 くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

同一法人内に、病院が併設し、協力医療機関でもあるため、医療においては、主治医やPT・OT等との連携が図りやすく、利用者や、家族の方から「安心して過ごせる」と喜んでいただいている。又、スタッフも安心して介護ができ、認知症であってもゆったりと、その人らしい生活を送っていただける様に処遇を心掛けている。